

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1021	(H.24)No.	1021
-----------	------	-----------	------

事務事業名	人権週間事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
生活環境部	人権・男女共同参画推進室	保田 謙吾	63-7909
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 55 年度以前 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	1	人を大切にする社会の創造
	施策	1	人権尊重
	小施策	1	人権意識の向上
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	100606
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	人権啓発推進費
項	人権政策費	(小事業名)
目	人権政策推進費	人権週間事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>人権週間(12月4~10日)を中心に、各種啓発事業を実施し、市民の人権意識の高揚に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権作品の募集と人権作品展の開催 ふれ愛コンサートにおける人権作品の表彰、人権作文の朗読発表 街頭啓発の実施(啓発物品の作成) 懸垂幕、のぼりによる啓発 広報なばり人権週間特集記事の掲載 ケーブルテレビを活用した啓発 	

めざす効果(事業目的)
<p>人権作品募集にあたり、市内小中高等学校へは学校訪問のうえ取り組み依頼を行い、学校人権教育を促進。</p> <p>一般市民へは広報紙などで応募を呼びかけることで人権を考えるきっかけを与える。</p> <p>入選者を「ふれ愛コンサート」で表彰したり、入選作品で啓発物品やポスターを作成するなど二次的な啓発効果が望める。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	<p>[事業内容(事業量)・事業費]</p> <p>・人権週間ふれ愛コンサート(12/4 約650名参加) 出演者等謝礼 330千円 ポスター等作成 114千円 音響等業務委託 77千円 会場、機材使用料 153千円 打合せ旅費等 19千円</p> <p>・人権週間街頭啓発(12/2 市内9ヶ所 94名従事) 街頭啓発配布物品 158千円</p> <p>・人権作品募集(応募総数643点) 応募者記念品ほか 110千円 ポスター作成 78千円</p>	<p>[事業内容(事業量)・事業費]</p> <p>・人権週間街頭啓発 街頭啓発配布物品 153千円</p> <p>・人権作品募集 応募者記念品 103千円 ポスター作成 84千円 その他 9千円</p>	補助金・交付金	その他 ()		
	直接事業費	1,038千円	349千円	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
財源内訳(千円)			・人権週間街頭啓発	・人権週間街頭啓発	・人権週間街頭啓発	
国庫支出金			・人権作品募集	・人権作品募集	・人権作品募集	
県支出金	750					
地方債						
その他()						
一般財源	(0) 288	349	349千円	349千円	349千円	
職員	0.86人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	
臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 6,278千円	4,380千円	4,380千円	4,380千円	4,380千円	
+ 総事業費	(0千円) 7,316千円	4,729千円	4,729千円	4,729千円	4,729千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人権週間記念行事「ふれ愛コンサート」に参加した市民の数 (H20からの累計)	650	1,300	1,950	2,600	3,250
	実績		650	1,300	1,950	2,600	
活動指標	目標	人権作品の募集に対する応募作品数 (H20からの累計)	500	1,000	1,500	2,000	2,500
	実績		427	1,092	1,735	2,509	
成果指標	目標	部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすために、自らが出来ることを考え取り組みたいと思っている市民の割合	-	-	-	-	66.0
	実績		64.0	63.5	68.1	64.7	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれ愛コンサート」では毎年安定した参加者数と、高い評価(アンケート)を得ています。 ・人権作品募集に関して、高校生、一般の部の応募状況が低調な傾向が続いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間「ふれ愛コンサート」第2部の人権コンサートを本年度から「人権のまちづくり推進委託事業(新規事業)」に組み込み、名張市人権センターへ事業委託します。 ・人権作品募集については、従来どおり学校訪問し丁寧な趣旨説明を行い取り組みを依頼します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで人権週間関連事業の中心的イベントであった「ふれ愛コンサート」のうち第2部の人権コンサートを「人権のまちづくり推進委託事業」として名張市人権センターへ委託しましたが、市民のニーズに的確に応えた事業展開となるよう、連携を強化する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふれ愛コンサート」第1部の人権作文朗読発表は多くの参加者がアンケートで「感動した」と感想を述べています。 ・「ふれ愛コンサート」第2部の人権コンサートの内容について、「子どもとともに楽しめるものを」という要望が寄せられました。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・ホームページ、ケーブルテレビ、FMラジオなどを積極的に活用して情報発信を行います。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・期間が接近している「障害者週間」や男女共同参画推進、子ども関連施策の啓発事業との連携を検討します。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・国、県、財団等新たな財源を検討します。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	・地域ビジョンに「人権」という文言があるのは「比奈知」「赤目」の2地区ですが、地域ビジョンそのものが「基本的人権の尊重を地域社会で実現するためのもの」と位置づけることができます。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	・人権作品の募集や街頭啓発といった人権週間関連事業を通して、互いに支えあう地域づくりのため、人権意識の高揚を図ります。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・高校(高専含)、一般に対する人権作品募集方法について、さらに検討を進めます。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
人権週間関連事業の中心的イベントである「人権週間ふれ愛コンサート」の第2部人権コンサートを本年度から「人権のまちづくり推進委託事業」に組み込み、名張市人権センターに委託しました。